

# 組成分析に参加してみませんか

組成分析を知っていますか？これは、市内から出た可燃ごみをビン・缶リサイクルセンターで、中に何が入っているのかを調べることです。毎年1回行っています。

組成分析はどなたでも参加できます。普段疑問に思っていることを実際に目で見て確認してみませんか。また、分別の再確認をすることもできます。2時間程度で終わりますので、お気軽にご参加ください。また、汚れる場合がありますので、汚れてもいい服装でご参加ください。

<b>実施日・持ち物</b>	実施日 平成24年3月29日(木)	場 所 狛江市 ビン・缶リサイクルセンター
	持ち物 タオル・長靴・マスク	時 間 午前9時から2時間程度

## クリーンセンター多摩川に搬入できない物

下記の品目は、指定収集袋で出されても収集できません。(詳細につきましては清掃課にお尋ねください)

- ボーリング球・消火器・耐火金庫・鉄塊・鉄球・鋼板等
- コンクリート・ブロック・レンガ・石類・土砂及びタイル等
- 塗料・シンナー・ガソリン・灯油・オイル及び有機溶剤等揮発性物質
- 有害薬品等(工業用薬品、化学薬品、農薬、その他有害・有毒と思われるもの)
- 発火物等(固形燃料、発煙筒)

などのごみは、ごみ処理施設を破損、損傷させる恐れがありますので、クリーンセンター多摩川に搬入することができません。これらの品物を排出する時は専門業者にお問い合わせください。



## 【ごみ減量化に向けた取り組み】

4 Rとはごみの減量に有効な手段である4つのRを示しています。4 Rには優先順位があり、リサイクルは環境面に負担がかかる上に多額の費用を要するため、ごみの減量の最終手段です。リサイクルにできるだけ頼らないように心掛けることが大切です。

### ごみの減量に有効な手段(4 R)

Refuse (リフューズ)	発生回避	ごみになるものを買わない、断ること
Reduce (リデュース)	排出抑制	ごみの量を減らすこと
Reuse (リユース)	再使用	使ったものを廃棄せずにそのまま使うこと
Recycle (リサイクル)	再生利用	使ったものを資源として再利用すること

- ◎生ごみ処理機の利用で減量を。  
市では電動・非電動生ごみ処理機等を購入された方に購入費の一部助成を行っています。
- ◎資源物集団回収事業を奨励しています。  
奨励金は、団体の活動資金などの財源として活用することができます。